

旧杉並中継所の 跡地活用に関する

意見交換会

Report No.2

旧杉並中継所（井草4-15-18）は、災害時には防災拠点として活用することとしていますが、平時の活用方法については「杉並区区立施設マネジメント計画」に基づき、令和7年度までに決定することとしています。

これまでの検討を踏まえ、区ではアーバンスポーツ（スケートボードやBMX等）などができる施設として改修・活用することを候補の一つとして考えていますが、施設整備を希望する方や不安をお持ちの方などの様々な意見を伺いながら、施設整備の実現性について皆さんと共に考えるため、意見交換会を開催しています。

今回は全3回のうち、令和6年12月14日（土）に開催した、第2回の様子をお伝えします。

第2回のテーマ

アーバンスポーツができる施設を整備する場合の 課題の解決策を具体化しよう！

第1回の意見交換会においては、施設を整備することで地域に良い影響があるという意見があった一方で、施設が整備されることに不安や課題を感じるという意見もいただきました。

それらの意見を踏まえ、第2回では第1回でいただいた意見・質問等への回答や施設を整備する場合の課題について解決策を具体的に考えました。

●第2回の流れ

第1回の意見交換会の 振り返り、いただいた質問等 に対する回答

第1回の意見交換会の内容を振り返るとともに、第1回にいただいた主な質問等に回答しました。

また、その回答に対する全体質疑やグループワークを行いました。

主な質問と回答は4面をご覧ください

施設を整備する場合の 課題と解決策の検討

ストリートスポーツ（※）ができる施設を整備する場合の課題と解決策やストリートスポーツ以外のアーバンスポーツへの懸念や課題等について、グループワークで検討するとともに、グループごとに発表を行い、全体で共有しました。

※アーバンスポーツの中でもタイヤがついている種目

施設を整備する場合の課題の解決策について具体的に考えよう！

第2回の意見交換会では、第1回の意見交換の中で多くの方が課題として指摘した事項（施設外部における課題、施設内部における課題）を中心に、その対応策を具体的に検討しました。

また、ストリートスポーツ（スケートボードやBMX等のタイヤの付いているアーバンスポーツ）以外のアーバンスポーツ（パルクールやボルダリング等）ができる施設についても課題と対応策を検討し、施設整備の実現性について議論を深めました。

検討に当たっては、グループワークをはじめ、グループごとに検討した内容を全体に発表（共有）することで、様々な意見に触れ合う機会とすることができました。



outside

施設外部における課題（騒音・マナー違反など）への対応策

懸念される主な課題

○施設外部の騒音（公道や公園内での滑走、施設利用時間外の音（話し声など））にどのように対応するのか

○路上喫煙やごみのポイ捨てが増えないか



○近隣に違法駐輪や路上駐車が増えないか

皆さんが考えた主な対応策

- 利用登録制にして、1年ごとに更新する。登録・更新の際はルール講習の受講を必須にする。違反者には利用制限などのペナルティを与える。
- 利用者協議会をつくり、施設の利用状況等について周辺住民と定期的に意見交換する。意見交換の内容は、利用ルールに反映させるとともに、ルール順守のための啓発活動につなげる。
- 施設の周辺に看板を設置して禁止行為を明示するとともに、管理人が施設内外を巡回する。
- 課題が改善されない場合は施設の完全閉鎖や一時的な閉鎖も検討する。

○駐車場と駐輪場は十分に確保する。



inside

施設内部における課題（マナー違反やけが・事故など）への対応策

懸念される主な課題

○施設内のルール違反にはどのように対応するのか

○事故やけがの発生にどのように対応するのか



皆さんが考えた主な対応策

- 小学校と連携して体験会を実施するなど、マナーを学ぶ機会を積極的に設けていく。
- 他自治体のアーバンスポーツ施設のルールや運営を参考にする。
- 施設内にカメラを設置し、マナー違反の確認や保護者の見守り、混雑状況の確認に活用する。
- 管理人が常駐し、注意や確認できる体制を構築する。
- 登録証に緊急連絡先を記載し、施設内に病院の連絡先を掲示する。
- ヘルメット着用を義務化し、防具の貸し出しも行う。

another



タイヤの付いていないアーバンスポーツ（パルクールやボルダリング等）ができる施設を整備する場合の課題等

皆さんが考えた主な対応策

- 種目に限らず、施設内外での騒音やマナー違反への対策をすることが重要
- 種目によってけがの防止対策を充実させる必要がある



皆さまからの質問への回答



アーバンスポーツと他の用途の複合化は可能なのか。



アーバンスポーツだけで施設全体を使用しない場合もあると考えていますので、他の用途との複合化は可能です。

例えば、ヨガやフィットネス、ダンスができる部屋や、会議やイベントスペースの整備など、ゾーニングによって様々なパターンがあると考えています。



施設内で滑走した際にどの程度の音が出るのか数値化して示すことはできないか。



計測器を用いて、新青梅街道沿いと旧杉並中継所の敷地内において、平常時とスケートボードを滑走した場合等の音を測定しました。

新青梅街道の通行車両の有無により測定値に増減はありましたが、スケートボードの滑走等による数値の大幅な増加（dB値の上昇）は確認できませんでした（測定結果は下表のとおり）。測定結果を踏まえると、施設内から発生する騒音の問題は解決できるものと考えています。

測定場所	測定時の状況	計測値
施設北西入口付近 （新青梅街道沿い）	平常時	51dB～75dB
	スケートボードの滑走等を実施した時	50dB～74dB
地下1階昇降設備室 （敷地内）	スケートボードの滑走等を実施した時	44dB～59dB

※測定は、平日の午前11時から正午の間に実施

その他の質問や質問への回答は、区ホームページ掲載の「第2回 説明資料」をご覧ください。

CHECK!

意見交換会当日の配布資料のほか、これまでの検討経過について、区ホームページ（右2次元コード）に掲載しています。

また、跡地活用に関するアンケート（令和7年1月31日（金）締切）も実施しておりますので、こちらもぜひご覧ください。



■問い合わせ

杉並区 政策経営部 企画課

施設マネジメント担当

〒166-8570

杉並区阿佐谷南1-15-1

☎03-5307-0822

